

解決したい課題・研究開発目標

【現状と課題】

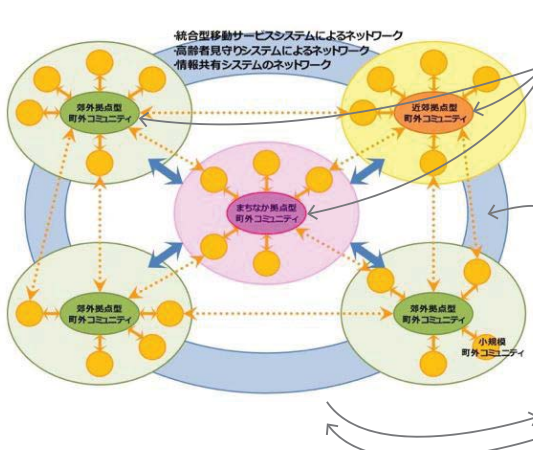
- 福島第一原発事故の被災自治体である浪江町
 - ⇒ 町民の多くは、仮設住宅など、福島県を中心とした全国各地に分散居住を余儀なくされている
 - ⇒ 従来のコミュニティ維持が困難、避難先での暮らしや生活再建へ向けての課題

【目指す社会像・研究開発目標】

- 仮設住宅団地等を核に分散する居住拠点「町外コミュニティ」と、点在する公共施設を有機的に結び付けた「ネットワーク・コミュニティ」を構築
 - ⇒ 従来のコミュニティを維持することで、高齢者等の長期にわたる避難生活を支え、安定し充実した活力ある地域社会づくりを目指す

<<具体的な活動>>

1. ワークショップ等による町外コミュニティの空間像、生活像を協働でデザイン
2. 移動支援・高齢者見守りを核とした包括的生活サポートシステムの開発
3. 浪江町住民を主とした科学的な評価尺度による継続的モニタリング
4. 人的ハブとなるコミュニティリーダーを中心とした情報システムの開発



PJ1: ワークショップを通じた「町外コミュニティ」の空間像、生活像の協働デザインと象徴的プロジェクトへの着手

PJ2: ネットワーク・コミュニティを支える円滑な移動手段、介護・福祉・教育支援、分散居住する高齢者の情報交流等を担う「包括的生活サポートシステム」の開発と実装実験

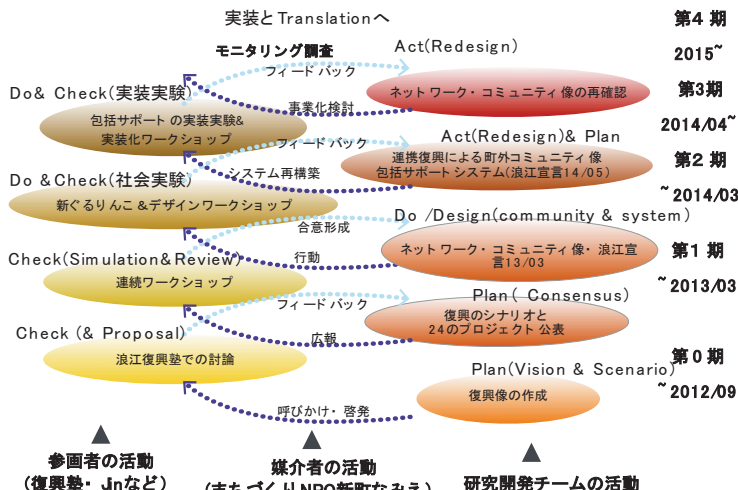
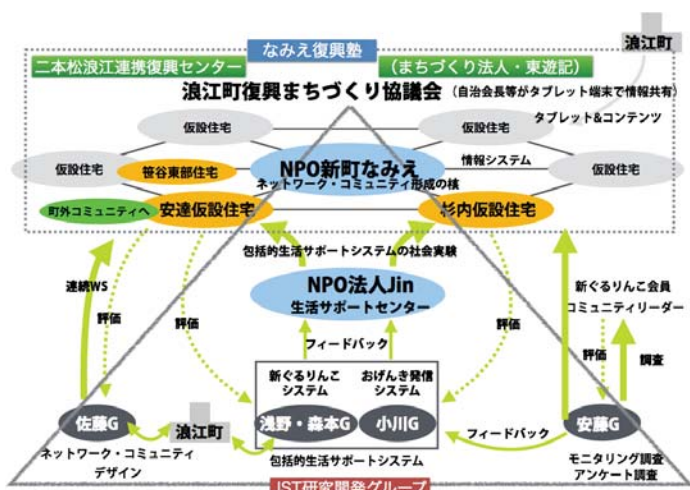
PJ3: ネットワーク・コミュニティに関する科学的な評価尺度の検討と総合的な評価システム、継続的なインタビュー調査

ネットワーク・コミュニティとプロジェクト全体の見取り図



対象コミュニティ・関与者とコミュニティデザインとしての研究プロセス

【対象コミュニティ】 原発被災地の福島県浪江町とその主な受け入れ地の二本松市、福島市
 【主要な関与者】 早稲田大学・東洋大学・岩手県立大学・まちづくりNPO新町なみえ



プロジェクトの現在とPJ期間内の見通し

1. ワークショップ等によるネットワーク・コミュニティの空間像・生活像の協働デザインプログラム開発

仮設住宅団地におけるワークショップや具体的な計画検討を通じたネットワーク・コミュニティ像の再検討

1-1. 二本松市内2ヶ所の仮設住宅団地における模型を使った町外コミュニティづくりのワークショップ

1-2. 福島市内における一定規模をもち分散する浪江町民の拠点となる町外コミュニティ・プロジェクトの検討

1-3. 多様なコミュニティづくりを議論する「浪江町復興まちづくり協議会」の発足・定期的な勉強会の開催

活動の継続によりネットワーク・コミュニティの空間像・生活像の実現化に務める。また、ワークショップや協議会自体のレクリエーション性や参加者が現況生活を再評価するきっかけづくりといった意義を、アクション・リサーチ等を通じて評価する。



1-1①.核となる福島県営復興公営住宅200戸と隣接空地への民間開発が連携一体として整備され「安達運動場仮設南地区の町外コミュニティ」



1-1②. 小規模仮設である建設学院跡仮設住宅を段階的に建て替えて地域とも連携した居住拠点を形成する「(仮称)安達ヶ原プロジェクト」



1-2. 福島市内における一定規模があり自律性の高い「MS地区町外コミュニティ計画」の検討

2. 移動支援・高齢者見守りを核とした包括的生活サポートシステムの開発

新ぐるりんこ移動支援システムとおげんき発信システムの実装実験

2-1. 新ぐるりんこ移動サポートシステム「えんじょい号」実装実験

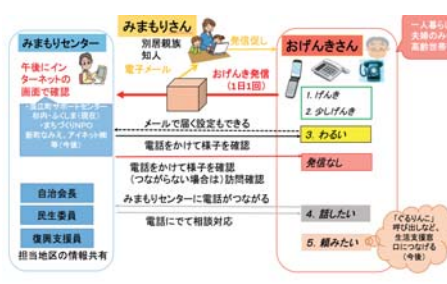
レクリエーションを目的とした移動支援による生活の価値向上、コミュニティの活発化を目的とし、二本松市内安達仮設で実施。

2-2. おげんき発信システム実装実験

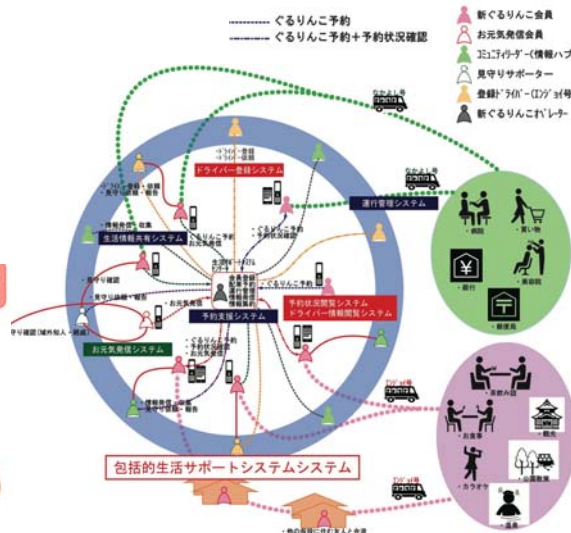
2つの仮設住宅団地で、仕組みの検討を合わせて少数のモニターでの立ち上げ、運用を進めている。



2-1. 統合型移動支援システム新ぐるりんこ「えんじょい号」実装実験の運行フローイメージ



2-2. 浪江町仮設住宅でのおげんき発信システムの実践



2-3. 高齢者のための包括的生活サポートシステムの全体像

3. 浪江町住民を主とした科学的な評価尺度による継続的モニタリング

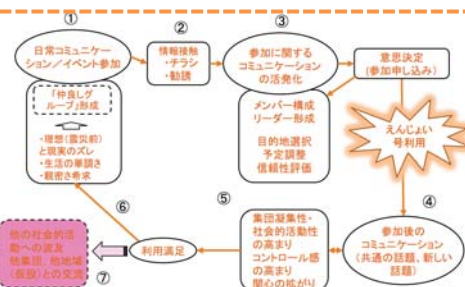
開発されたシステムやプログラムを心理学的な視座より調査し、サポートシステムとしての価値の科学的に分析・評価する

3-1. 新ぐるりんこ「えんじょい号」実装実験に伴う心理的な過程

仮設住宅で実施された「新ぐるりんこ」サービス利用者の心理的過程をモデル化し、利用者のウェルビーイングを促す条件を検討する。

3-2. 避難住民への質問状調査

ネットワーク・コミュニティ形成に向けて、対象となる住民の心理に関する基礎的データを得る。



3-1. 新ぐるりんこ「えんじょい号」実装実験に伴う心理的な過程